

学校運営計画(4月)					
「伝統の継承と時代を見据えた改革・創立100周年に向かってさらなる発展」(継往開来)					
学校運営方針	年度重点目標		具体的目標		
昨年度の成果と課題					
昨年度は、本校独自の教育活動を継承発展させ、その成果は保護者や同窓会、地域から一定の評価を得ることができたが、生徒の希望進路の実現においては、目標とする数値には及ばなかった。今年度は学力向上に直結する授業改善に組織的に取り組むとともに充実した進路指導のための一貫した進路指導システムを構築していく。また、SSH事業の成果を理数科のみならず、普通科へも応用していくことで学校全体の教育活動の活性化につなげていく。加えて来年度の100周年事業の成功に向け、組織的に準備を進めていくとともに、100周年を迎えるにふさわしい八高生としての品格と高い志を持った生徒の育成に努める。更に時代を見据えた諸改革から本校への志願者増加を図る。	教師の自己研鑽により授業力を向上させるとともに教科内研修や教科科目横断型授業をはじめとする授業研修会などを通じて授業改善に取り組むとともに、「鍛ほめ福岡メソッド」の実践により、生徒の高い志と知的好奇心に支えられた主体的な学びを実現する。	・自己研鑽を基とし、授業研修会などを通じて、主体的・対話的で深い学び(AL)を実践する。 ・意欲と向上心が掻き立てられる魅力ある学習指導を目指す。 ・基礎基本の確実な定着の上に深い学びが実現できるよう、指導の方向性の共有と3年間を見通した教科指導を組織的に実践する。	A		
	学校行事を再定義することで、育成すべき生徒の資質・能力の共通理解とその意識化を図るとともに、主体性を最大限に引き出す生徒指導により、意欲に溢れ、心身ともに健康で、自他の人権を尊重できる心豊かな生徒を育成する。	・生徒が中心となって活動する生徒会活動、学校行事、部活動を一層推進し、主体性を育成する。 ・すべての教育活動を通して学校を「家族」とし、優しさと思いやりを育てる。 ・建設的な自己表現や責任を持った自己主張ができる生徒を育成する。 ・適切なヒドゥン・カリキュラムのもと、全教育活動において自他の人権尊重の精神を養う人権・同和教育を実践する。			
	生徒の特性や能力を把握し、個性に応じた積極的・意欲的な進路指導を行うことで、高い志を持ち、社会を支えリードし、社会に貢献できる生徒を育成する。	・充実した進路指導のための一貫した進路指導システムを構築する。 ・難関大学への積極的な進路指導を行うとともに、その実現のためのノウハウを研究する。 ・人間力と高い志を育成し、AO入試にも活用できる夢現∞プロジェクトを創造する。 ・授業や個人面談を通して、明確な将来への展望を持たせる進路指導を行う。			
	SSHの成果を最大限に活用し、より一層の理数科教育の充実と普通科への応用を図る。	・SSHの成果を活用した理数科における教育を基軸として、課題研究等の探究的な姿勢を普通科にも応用するとともに、理数科と普通科が切磋琢磨する教育活動を展開する。			
	地域やPTA・同窓会との連携を強固にし、本校の教育力を高めるとともに工夫した生徒募集を展開し、教育活動を積極的に発信することで本校への志願者増加を図る。	・学校のホームページ等、多様なメディアを活用し、本校の特色ある教育活動を発信する。 ・校区の端でも人が集まる教育活動を検討し、PTA・誠鏡会(同窓会)・学校後援会等と連携して、教育効果を高める。 ・中学校訪問や塾訪問に加え、地域別の効果的な広報活動を検討し、実施する。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教務班	自己研鑽を基とした授業改善により、生徒の意欲と向上心が掻き立てられる魅力ある学習指導の実践	基礎基本の確実な定着と主体的な学びの育成 学習意欲を喚起する課題の設定とその評価方法の改善 指導の方向性の共有と3年間を見通した教科指導の組織的な実践	A B A	A	生徒の主体的な学びを育成するために授業改善を積極的に推進していくとともに評価法についても研究を深めていく必要がある。
総務・広報班	行事や広報関係業務の円滑な運営及び学校認知度の向上	確実な連絡・調整による学校行事及び関係諸業務の円滑な運営 八高の魅力発信による認知度を高め、志願者増を目的とした広報活動の実施 情報班と連携したホームページの円滑かつ速やかな更新	A A B	A	志願者増を目指し、今年度の取組を継承しつつ内容の充実を更に進めるとともに、魅力ある学校づくりと効果的なHP等の活用法を模索していく。
生徒指導班	魅力ある学校づくりと規範意識の高揚・マナーの向上	学校行事への積極的な取組 教育活動全般における規範意識の向上 PTAの協力によるマナーの向上	A B A	A	保護者や地域の方々と協力しながら、生徒の規範意識およびマナーの向上を推進していくための具体的な取組を模索する必要がある。
保健班	生徒の抱える課題の把握と支援及び安心安全な教育活動の整備	教育相談・SC・特別支援教育での情報の共有と支援体制の推進 生徒の委員会活動を中心とした、健康管理意識と美化意識の醸成 各学校行事における保健活動の円滑な実施	A A A	A	様々な困り感を持っている生徒を支援していくための効果的な指導のシステムを構築していく必要がある。
進路指導班	低学年からの組織的な育成による難関大学・難関学部志望者数の増加	生徒の学習意欲の喚起による希望進路の実現に向けた学力の養成 難関大学・学部への推薦・AO入試への積極的なチャレンジ 総合的な学習の時間【夢現∞Project】の実施による現代社会の諸課題の研究	B A A	A	新テストに向けた具体的な指導を行っていくとともに3年間を見通した難関大志望者の養成を推進していく。
情報班	校務用パソコン等ICT機器の保守管理及びICT機器を活用した授業の推進	ICT機器の定期的な保守管理の実行 Progressの年度更新やProgressによる成績処理等の正確な実行 校務用パソコンとネットワークの迅速な保守管理の実行	B A A	A	校務用パソコンに係わるシステムの変更に適切に対応するとともにICT機器の保守管理、Progressの汎用性をより高めていく。
研修班	各教科の指導法の確立およびその奨励と校内研修の充実	研究授業・授業参観・授業評価を活かした授業の改善 指導方法を検証する教科内研修の充実 各種校内研修(職員研修・基本研修)の計画的な実施	B A A	A	教科科目横断型授業を推進するとともに、研修を奨励し、職員の授業力向上に寄与していく。
図書班	読書意欲の喚起による図書館の有効利用の促進	授業や総合的な学習の時間における図書館の積極的な利用の推進 朝の10分間読書の時間の効果的な実施 芸術に触れ鑑賞する態度を育成するための芸術鑑賞会の実施	A B A	A	来年度は、朝読の時間が無くなるのでそれに代わる生徒の読書を奨励する方策を考える必要がある。
第1学年	基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着、高いレベルで進路選択ができる指導の推進	挨拶・清掃・時間厳守の励行と出席皆勤者200名以上の達成 生徒の興味関心を引き出す授業の実施および基礎学力の定着 難関大学を志望する生徒の増加(進研模試総合偏差値64以上40名以上)	B A B	B	安易な欠席をさせない工夫及び学年全体の成績の底上げを行うことで難関大を目指せる生徒を増加させる。
第2学年	基礎学力の定着と個に応じた指導の導入 中堅学年としての意識の涵養	規範意識の醸成と個性を尊重しあう集団づくりの推進 生徒自らが掲げた目標達成のための計画的・効率的な学習習慣の確立 個に応じた進路指導体制の確立(偏差値60以上100名以上)	B A B	B	引き続き規範意識及びマナーの向上を推進していくとともに、進路実現に向け、一人一人の生徒の成績と志望校の分析を行い効果的な指導を学年全体で行う。
第3学年	学年テーマ「情熱～夢の大空へ～」をもとにした人間形成	挨拶の徹底および出席皆勤200名以上の達成(各クラス25名以上) 進路指導および個人面談の充実による希望進路の実現(難関大学30名以上) 愛校心と感謝の心の育成。学校・部活動等におけるリーダーの育成	B B A	B	情熱学年の3年間の総括を行い、それを学校全体の指導に活かしていく。